



うちなー便り

昭和薬科大学附属高等学校・中学校（沖縄）



昭和薬科大学講演会

附属高校では、毎年昭和薬科大学の先生にお願いして、医歯薬看護系に進学を希望する生徒を対象に講演会を開催しています。今年度は、学長・副学長をお招きして、7月9日（月）に下記のテーマで講演をしていただきました。

西島正弘学長：「薬と食品の安全性確保について」

榛澤雄二副学長：「薬学での研究の楽しみ方」

今回は生徒68名、保護者10名の参加があり、講演では、薬学を活かした仕事の分野や薬学部での学生生活、昭和薬科大学の紹介もあって、参加した生徒からは「薬学へ進みたいという気持ちが強まった」とか「薬学に対して新しいイメージを持つことができた」などの感想が多く寄せられました。



宿泊研修(中学)

大学に諏訪校舎があった頃は「諏訪研修旅行」を実施していましたが、現在は高校1年で北海道へ修学旅行を実施し、中学では修学旅行は実施せず、各学年で沖縄県内での宿泊研修を実施しています。

今年度は、5月31日（木）に中学1年の1泊研修が本島南部の「糸満青少年の家」で行われました。9月27日（木）には本島北部の「名護青少年の家」で中学2年の1泊研修、9月26日（水）から2泊3日で中学3年の海洋研修が渡嘉敷島の「国立青少年交流の家」で行われました。これらの宿泊研修を通して、沖縄の自然や文化に触れながらクラスの団結や、薬科生、（沖縄県内における本校の通称）としての強い絆が結ばれていくこととなります。



慰霊祭

附属高校・中学校のある浦添市沢岬は、沖縄戦で日本軍司令部がある首里の防衛線として激戦地になった場所です。そのため附属高校には平和を願う慰霊碑が建てられていて、沖縄県慰霊の日（6月23日）にあたって附属高校でも生徒会役員を参加させて慰霊祭を行っています。

特に今年は、校内放送系の生徒が（慰霊の日特集）を組み、3日間にわたって昼休みに校内放送を行いました。

6月19日（火） 校長メッセージ（放送係代読）

6月20日（水） 詩の朗読 牧港篤三『沖縄悲哭』より

①「戦場の雨宿り」（演劇部朗読）

②「植物の生理」（放送部朗読）

6月21日（木） 音楽-ひめゆり部隊「相思樹の歌」（別れの曲）



国連合唱団との交流会

ニューヨークの国連本部で働いている職員で編成している「国連合唱団」が、結成65周年を記念して「平和と慰霊」をテーマに広島・長崎・沖縄を訪問してコンサートを開催しましたが、沖縄訪問では地元の高校生との交流会を持ちたいとのことで附属高校が選ばれ、5月24日に世界25か国からなる30名の団員が学校を訪問しました。体育館で行われた交流会は、高校生徒会が企画・進行の全てを担当しましたが、舞台では合唱（合唱部）・日本舞踊・空手（空手部）・琉球舞踊を披露し、生徒の挨拶・司会進行・質疑応答などプログラムは全て英語で行われました。その様子は翌日のNHKニュースで紹介されましたが、国連合唱団東アジア公演実行委員会から「貴校の生徒が一丸となって、一生懸命に歓迎していただきましたことが何よりも合唱団のメンバーは嬉しく受けとめると共に、私たち大人は今回生徒たちから多くのことを学びました」というお礼状が届いています。

